

公認心理師受験資格の特例に伴う「必要な科目」の読み替え対応表(法政大学大学院人間社会研究科臨床心理学専攻)

公認心理師法附則第2条第1項第1号及び同項第2号の省令で定める大学院における科目

大学院における必要な科目名 (含まれる事項)		臨床心理学専攻で 対応する開講科目	
I	1 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ①保健医療分野に関わる公認心理師の実践	臨床心理学研究法特論	I(1～5)については、1を含む3科目以上を履修する。
		医療心理学特論	
		精神医学特論	
		臨床心理学特論	
		心理学研究法特論	
2 福祉分野に関する理論と支援の展開 ①福祉分野に関わる公認心理師の実践	児童福祉特論		
	高齢者福祉特論		
	障害者(児)心理学特論		
	ケアマネジメント特論(2006年度まで)		
	リハビリテーション事例研究特論(2003年度まで)		
	福祉臨床特論Ⅰ(児童福祉)(2003年度まで)		
	福祉臨床特論Ⅱ(高齢者福祉)(2003年度まで)		
3 教育分野に関する理論と支援の展開 ①教育分野に関わる公認心理師の実践	学校臨床心理学特論		
	教育心理学特論		
4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ①司法・犯罪分野に関わる公認心理師の実践	犯罪心理学特論(2016年度まで)		
	社会病理学特論(2016年度まで)		
5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ①産業・労働分野に関わる公認心理師の実践	産業メンタルヘルス特論		
	グループ・アプローチ特論		
II	6 心理的アセスメントに関する理論と実践 ①公認心理師の実践における心理的アセスメントの意義 ②心理的アセスメントに関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	臨床心理査定演習	II(6～9)については、2科目以上を履修する。
		投映法特論	
		臨床心理査定演習Ⅰ(心理検査法)(2002年度のみ)	
		臨床心理査定演習Ⅱ(面接査定法)(2002年度のみ)	
	7 心理支援に関する理論と実践 ①力動論(※1)に基づく心理療法の理論と方法 ②行動論・認知論(※2)に基づく心理療法の理論と方法 ③その他の心理療法の理論と方法 ④心理に関する相談、助言、指導等への上記1～3の応用 ⑤心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整	比較心理療法特論	
		臨床心理面接特論	
		心理臨床演習	
		力動的心理療法特論	
		臨床心理面接特論Ⅱ(比較精神療法)(2002年度のみ)	
	8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 ①家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法 ②地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	家族心理学特論	
臨床心理地域援助特論(2016年度まで)			
コミュニティアプローチ特論(2005年度まで)			
9 心の健康教育に関する理論と実践 ①心の健康教育に関する理論 ②心の健康教育に関する実践	カウンセリング特論		
	臨床心理面接特論Ⅰ(カウンセリング)(2002年度のみ)		
III	10 心理実践実習(450時間以上)	臨床心理基礎実習	III(10)については必ず履修する。(ただし施設の分野及び時間数を問わない)
		臨床心理実習	